

# 農園通信

2024年11月・12月

発行・問合せ先: 島本町農業振興団体  
協議会・町民農園部会 福田

fukuda-ka@amail.plala.or.jp

## 冬野菜の種まき

<ある畑の様子>

◇大根の種まき…8月末から

・8月末～9月当初の気温が高い間に種まきしたものは、ダイコン(サル)ハムシの被害にあわず葉がきれい。

しかし、シンクイムシ(ハイマダラノメイガの幼虫)が付いて全滅という畑もある。

\*暑い時期の種まきは太陽光の一部を遮るよう遮光ネット等で工夫。

・9月19日に種まきしたものはダイコンハムシが付いて葉がレース状。でも負けないで成長している。

\*少し気温が下がって虫も過ごしやすくなったのか、ダイコンハムシが出て来た。

・10月12日に種まきしたものはダイコンハムシの害が少なく、今のところ素直に大きくなっている。

#大根等のアブラナ科の栽培には防虫ネットを使用している。

#間隔をあけて種を蒔くと、大根の成長のスピードが速く虫の被害を振り切りやすい。

\*密集して植わっていると“虫だらけ”になりやすい。🐞

◇大根以外の9月の発芽のようす(気温の影響は?)

人参:9月上旬は発芽が悪かった。9/12、9/21、9/23、9/27は発芽した。

菊菜:9月中旬は発芽しなかった。10/1は発芽。

サニーレタス:9月下旬で発芽した。ウマイナ:9/21は発芽。

【裏面に続く】



10/31 撮影

### 過去最も暑い夏だった!

<大阪の9月の気温>

30度以上の真夏日が26日  
(35度以上の猛暑日も5日)  
最低気温も9/21までは25度以上

## 島本町の今年、梅が大不作、柿が大不作、…、カメムシが少ない

・梅は全国的に不作、その原因は暖冬で2月に満開を迎える梅の開花が2週間早かった。一方、花粉を媒介する蜂の活動時期は変わらず、花の受粉がされなかった為。温暖化で生物間の関係が崩れた。

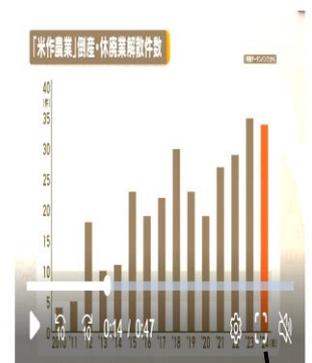
・柿は熟す前に多くが落下した。残った実も小さい。猛暑の影響と思われるが詳しくは分からない。

・カメムシが少なかったのはラッキー。大豆、エダマメの被害が少なく美味しい枝豆が収穫できた。

## コメ不足の中コメ農家の倒産・廃業が急増

【「グッド！モーニング」2024年9月6日放送より】

帝国データバンクによりますと、今年1月から先月にかけて発生したコメ農家の倒産・廃業の件数は34件でした。去年1年間の35件を大幅に上回り過去最多となることは確実で、初の年間40件台の到達も想定されます。背景には、生産コストの上昇と深刻な後継者・就農者不足が挙げられます。資材の高騰と値上げの難しさから農家が経営をあきらめる状況が続けば、将来的に主食のコメが安定的に供給できなくなる可能性もあるということです。



今年1月～8月までの件数

# (;^ω^;)夏は休憩

今年の夏(9月も)は記録的な暑さでした。  
今までの畑との付き合い方を変えた方がよいですね。  
健康第一!夏は枯れるのも自然、あきらめも大切です。  
**自然との付き合い方を考える!**

## 経験談

(Kさん)

ナスが枯れないようにと夏も水やりに行った。大変だった。来年はナスを作るのをやめて、カボチャ、スイカを植える。(カボチャ、スイカは水やり要らない)

(Sさん)

夏野菜類のササゲ、(甘さは少し落ちてきてはいますが)メロン、キュウリ、そしてピーマン・トウガラシ、金時草が未だによく育っています。オクラはそろそろ終わりです。

秋野菜の発芽には苦労しました。ツルを切り込んだ三度豆はやっと受精を始めました。(10/20)  
ジャガイモ、発芽状況が悪く未だ7割程度しか芽が出てきていません。(10/22)

(Hさん)

今年の黒小玉スイカはツルボケと思われ、葉が繁ったが実の付きは1個だけであった。ただ、その1個は6kgあり、十分に甘かったので、個人的には満足しました。

9月中は畑の準備が出来ておらず、種まきはしていません。8月にポットに撒いた白菜、キャベツ、ブロッコリーは10/5に苗植えしました。10/5、大根、聖護院蕪、人参播種、前2者は順調に発芽、10/14、人参追い撒き。10/23、チンゲン、水菜、春菊播種、これらは今順調に発芽。10/27、空豆、グリーンピース、スナッフエンドウ播種。これから、小蕪、ホウレンソウ、レタス、を撒く予定。

(Oさん)

9月頃に種まきした九条ネギも発芽しなかったと記憶しています。玉ねぎも9月頃に種まきをしましたが殆ど発芽しませんでした。高温の影響?

(Fさん)

カボチャ(粘土質の畑):今年の梅雨は連日雨が続きました。カボチャは水を嫌う(土の多水を嫌う)ので、うねはウント高くしていたのですが、連日の雨で可哀想にひどく弱りました。何とか梅雨の時期を生き延びましたが収量は少ないです。1株当たり2,3個。8月中旬から勢いが増し、たくさんの花を付けハチやアブがうるさいほど飛び回っていました。しかし、実どまりしない。高温のせいかな?(インゲン豆やトマトは気温が高いと結実しない)。それで、8月初めにミニカボチャの種を蒔きました。こちらはとても元気で9月に実を着けました。同時にマツカの種も蒔きました。たくさん実を着け美味しくいただきました。枝豆(大豆)は良く出来ました。右の写真

(Kさん)(Nさん)(Mさん)

さつま芋がツル・葉はりっぱでしたが、小さい芋しか入っていません。つるボケです。

元肥だけで追肥はしていませんが、それでも肥料が多すぎたのですね。

\*さつま芋は元肥、追肥とも肥料ゼロでよいです。



**冬瓜とエビの煮物** 冬瓜 400g を3cmに切り、熱湯で5分ほどゆでる。鍋に煮汁(鰹だし1カップ、みりん大1、醤油小1、塩小 1/2)を入れ、冬瓜、エビ、生姜(すりおろし小1)を加えて落とし蓋をして15分ほど、冬瓜が軟らかくなり煮汁が半量になるくらいに煮る。味を見て薄ければほんの少量の塩を加える。片栗でとろみを付け器に盛る。ゆず皮の千切りを散らせばなおよし。

#冬瓜とエビは出会いもの

農園通信の  
アーカイブ

